

## 平成28年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	徳永
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		経常的経費		<b>内線</b>	3642
<b>事務事業名</b>	4289 通常保育事業											
<b>所 属</b>	300200 教育委員会事務局・子ども課											
<b>施 策</b>	02020900 子育て環境の充実											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	030203 民生費・児童福祉費・保育所費										
	<b>事業</b>	030000 通常保育事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
保護者の就労や病気により、家庭において十分保育することができない児童を家庭の保護者にかわって保育し、児童の健全な発育を図る。						保護者が昼間労働に従事するなど、家庭において十分保育することができない児童の保育を行った。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>平成27年度 実績</b>	<b>平成28年度 予定</b>
保育の実施延児童数11,031人	保育の実施予定延児童数11,256人
<b>平成29年度 予定</b>	<b>平成30年度 予定</b>
<b>平成31年度 予定</b>	<b>平成32年度 予定</b>

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		359,336	351,176
特定財源	国庫支出金	679	591
	都道府県支出金	5,223	5,113
	地方債	0	0
	その他	131,226	128,949
一般財源		222,208	216,523
人員数(人)	正規職員	60.7	58.8
	嘱託職員	46.8	59.3
	臨時職員	55.5	50.0
人員コスト	正規職員	437,525.6	423,830.4
	嘱託職員	126,594.0	160,406.5
	臨時職員	57,165.0	51,500.0
	計	621,284.6	635,736.9
市民一人当たりの経費		18.7	18.9
総額		980,620.6	986,912.9

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	23	
11節 需用費	87,781	賄材料費等
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	77	
その他	271,455	嘱託人件費等

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	80	通園費補助金
その他	351,096	嘱託人件費等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	保育を実施するうえで必要不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	正規職員で実施するより大変有効	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	正規職員で実施するより大変効率的	

振り返り（決算年度の取組み課題）
正規職員で実施するより大変有効なので今後も実施する

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

適切な保育を実施することができた

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

仕事に従事する等で家庭保育ができない保護者に代わり、施設整備された環境のなかで、保育を実施することができた。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--